

SPECIALIST



熊谷忠久さん ■北海道出身。1997年に来米。「モリンガ・プロジェクト」は持続可能な発展を意識し、実現する活動として、国連の「グローバル・インパクト」に認定されている。プライベートでは1歳と5歳の二児の父で、「育メン」としても全力を尽くしている。写真はモリンガの葉の拡大写真。

私と○○

各界で活躍する人々が、今のビジネスや哲学にたどり着ききっかけとなった○○を聞く。

エコビタLLC 社長 熊谷忠久さんとモリンガ

健康食料品業界は、健康志向の定着や浮上に伴って、エキサイティングな動きがある業界です。新しい原材料にスポットを当て、いち早く新商品を開発すること、つまり機動力が求められます。

わたしたちエコビタにとつてそれは、ハーブの一種「モリンガ」でした。健康食品業界でもまだまだ新顔のモリンガについて調べてみると、ビタミンCやカルシウム、ポリフェノールな

ど、いろいろな栄養素がほかの食品よりも多く含まれていることが分かりました。さらに、商品化に向けて良質のモリンガを探すことから開始した「モリンガ・プロジェクト」は、葉の栽培から加工までを現地で行うことにしました。

ビジネスパートナーとの理想的な関係は、商品開発においても「ワイン・ウイン」。「一緒にやつていく！」という共通のビジョンを持つてビジネスを盛り上げ、

いいモデルを作ることが大切です。共通のビジョンを持つために必要なものの一つである商品、モリンガとの出会いに加え、ブローカーを通さずに現地と直接ビジネスを行う、社会貢献型のビジネスモデルを選択したこと。それにより、誇りを持つて商品をプレゼンテーションする土台を強化できました。

現地(ガーナ)のNPO(非営利団体)を通してモリンガ栽培農家と直接ビジネスを行う挑戦は、持続可能なビジネスモデルの一つであると自負しています。しかしここで忘れてはいけませんが、チャリティーではないということ。基準に合った最高品質のモリンガをお客さまの手に届けるのが、わたしたちの仕事で、現地のパートナーにもその自覚を同じく持つてもらわないといけません。調査基準やインフラの整備、現地スタッフの仕

事に対する考え方も含め、共通の土台を整え、商品をラインに乗せるのに1年を費やしました。今、現地で頑張っているスタッフやパートナーの仕事ぶりを見ると、本当にやってよかったです。

モリンガを使つた商品は今、カプセルタイプのみですがシリアルにかけたり、料理に入れたりして気軽に使えるパウダーへの商品化を目指し、現在改良中です。これからもモリンガを見出したときに発揮した機動力を強みに、皆さんに健康を届けていきたいです。

INFORMATION

ECO VITA LLC
24 Link Dr.
Rockleigh, NJ 07647
TEL: 201-750-3365
www.ecovitausa.com
www.moringafact.com